

小郡小学校三年一組のみなさんへ



小郡小学校、三年一組のみなさん、はじめまして。

私は、新潟県の新潟市の上所小学校の「山本 敦子（あつこ）」と言います。縁があつて、このたび、みなさんと国語の学習をさせていただくことになりました。よろしくおねがいします。

まず、なぜ、私が、みなさんと国語の学習をしたのかお話しします。

みなさんは「甲越地震」といつのを知っていますか？

私は、実は、「甲越地震」の時に、この研究会で国語の授業をすることをやくそくしていました。でも、この地震はとても大きな地震で、その時、私の学校は、被災した方の避難所になっていました。つまり、学校をお休みして、避難してきた方々が寝泊まりするところになっていたわけです。私の学級の子どもも、体育館に一ヶ月以上寝泊まりしている子どももいましたし、家が半壊になり転校していった子どももいました。私は、とてもこの状態の自分の学校をおいて、国語の授業をしいくことができませんでした。

そして、今年、ふたたび、私のところに、この国語の授業をするお話がきました。ちょうど、三月十一日に、未曾有の「東北地震」がありました。この、また、大きな地震があつた年に、みなさんと国語の学習をするのは、「運命」だと感じました。

昨年は、山口から先生方が来てくださつて、新潟で授業をしてくださいました。今年は、山口で授業をするのですから、新潟からだれかがお礼に行かなくてはとも思いました。

ですから、私は、みなさんと、国語の学習をすることを決めました。

新潟から小郡は、とても遠いです。新潟から、九州の福岡に飛行機で行き、それから、新幹線で山口に向かいます。半日かかります。ですから、申し訳ありませんが、十一月二十五日当日しみなさんにお目にかかることができません。ごめんなさい。

その分、心をこめて、みなさんに「短歌を好きになつてもらおう」学習を創りました。担任の河野先生にその思いと学習の仕方を託しますので、私に会うまで、河野先生と一生けん命学習してください。

地震の話をしました。私の学級にも、福島から避難してきた子どもがいます。日本中が悲しい思いをしました。今もしています。みなさんと河野先生と私とで創る学習で、小郡小学校に来る先生方を元気にして、その先生たちが学級に帰つて担任している子どもたちを元気にして、そうやって、私たちがする授業が少しでも、みんなの未来を明るくするようにしたいと思います。一緒に歩いてください。

では、みなさんに会うことを心から楽しみにしています。

山本 敦子